

# 蝶のような形の小花がかわいい。

< 植物名 >

## ロベリア

紫

水やり

多湿にも乾燥にも弱いので、毎日午前中少量ずつ水やりをする。

置き場所

日当たりと、やや湿った場所を好む。

用土肥料

培養土には腐葉土のような有機物をやや多めに入れる。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

株分けは、秋または早春に行う。挿し芽は春に、実生も容易で、春に種子を播く。

冬越し

寒さに弱いので、冬は室内で越冬させる。

使い方 鉢植え、花壇、ハンギングバスケット

学名 Lobelia

英名

属名 ミソカクシ

科名 キキョウ

性状(分類) 一、二年草、多年草または低木

原産地 南アフリカ

花の色 紫、薄紫

開花期 5～6月

購入時期

草丈 10～25cm

ID 201

季節 春 夏

JFコード 52923



冬越しと置き場所

日当たりと、やや湿った場所を好む。寒さに弱いので、冬は室内で越冬させる。背の高い種の大輪サワギキョウは、比較的寒さに強い。

その他の解説

1度花が咲き終わっても、株の3分の1程度を残して切り戻し、追肥をすれば再び開花する。株分けは、秋または早春に行う。挿し芽は春に、実生も容易で、春に種子を播く。培養土には腐葉土のような有機物をやや多めに入れる。

特徴1

南アフリカ原産の12年草、多年草または低木。直立性のものと、はい性のものがある。細い枝の先に、羽を広げた蝶のような形の小花を無数につける。多湿にも乾燥にも弱いので、毎日午前中少量ずつ水やりをする。

特徴2

一般にロベリアの名で出回っているのは、南アフリカ原産のエリヌスを改良したもの。いくつにも分かれた細い枝の先に羽を広げた蝶のような形の小花を無数に咲かせる。直立性のものと、はい性のものがある。いずれも花壇によく用いられるが、後者のものは、ハンギングバスケットやグランドカバーにも向いている。